

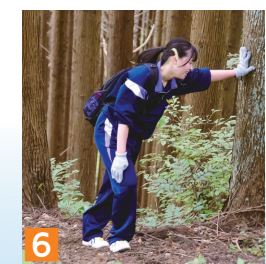
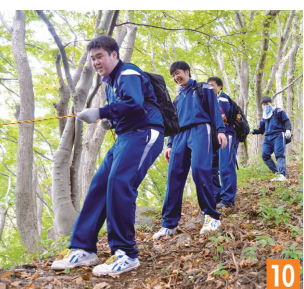
# みんなで挑む

# 森山頂上への道

9月22日、県立五城目高等学校の創立80周年記念事業として森山登山が行われ、同校の全校生徒が参加しました。

生徒たちは、森山の魅力発信などを行う「もっと森山をもりあげ隊」の副代表を務める荒川滋さん（55歳・築地町）の、森山の歴史や自然に関する講話を聞いた後、学年ごとに校舎を出発。岡本登山道入口から森山第2高地（標高285㍎）まで約1・3㍎の道のりを、時折険しい斜面が連続する中、自身を奮い立たせたり、仲間と励まし合ったりしながら、力を振り絞って登り切りました。

また、今回の森山登山の実施に際し、もっと森山をもりあげ隊の皆さんが、多方面で生徒たちをサポート。本年5月には、登山道の草刈りや枝払いを実施したほか、事前にロープ設置などの安全対策を、当日はルート上の8か所に隊員を配置し、クマよけの鈴鳴らしや生徒への声掛けを行いました。



1校舎を出発し、森山を仰ぎながら岡本登山道入口へと向かう 2力を振り絞って、急な斜面を少しずつ前進 3五城目高校の校舎を背に、第2高地で記念撮影 4第2高地への登頂を記念し、「希望の鐘」をひと鳴らし 5岡本登山道入口から歩くこと約40分、森山第2高地へと到達 6険しい道を登り切るには、こまめな休憩も重要 7「もっと森山をもりあげ隊」の皆さんが、クマよけの鈴を鳴らしたり生徒に声を掛けたりしながら登山をサポート 8同校美術部の生徒が製作した案内看板が、ルートの分岐点などの要所に設置 9目標とする第2高地まであとひと息! 10険しい道のりは、仲間とともに笑顔で乗り越える 11第2高地から、眼下に広がる壮大な景色を一望

